

SAF JAPAN NEWSLETTER



THE STUDY ABROAD FOUNDATION
AN INTERNATIONAL UNIVERSITY NETWORK

2013 New Year Edition

第1回 SAF Alumni Association 記念総会の開催報告

SAFスタディ・アブロード・ファウンデーションはこれまでに日本、韓国、中国、台湾から3,335名(日本からは2,106名)の大学生を留学に送り出してきました。帰国学生の繋がりを強化するためにもSAFでは正式にSAF Alumni Associationを設立し、2012年12月1日(土)に国立オリンピック記念青少年総合センターにて第1回の記念総会を開催しました。当日は、帰国学生・社会人OB・OG、留学予定学



生、留学希望学生、「グローバル人材を考えるゼミ」参加学生および大学関係者など約70名の参加者が一堂に会しました。

第一部では、文部科学省の「グローバル人材育成推進事業」に代表されるように大学生の国際化が重要課題となっている日本の背景を踏まえ、「大学生の国際化は日本を変えられると思うか?」という共通命題に対し、5名のSAF留学経験者がそれぞれのアイデアを発表しました。留学を終えた学生は果たして実際に国の奨励している方向性と意見・考えが合致しているのかを検証するのが一つの狙いでしたが、実際、5名全員から、留学を通じた学生の国際意識の芽生えは「日本を変える原動力となると思う」という前向きな意見を聞くことができました。また社会人OBの基調講演として、自身の留学経験が社会でどのように活かさ

れているのかという話もあり、学生の目線とは異なる意見に会場全体が刺激を受けました。発表はコンペティション形式で行われ、参加者それぞれが感銘を受けたプレゼンテーションに一票を投じました。結果、優勝者はイギリス・ウエストミンスター大学に留学した中央大学総合政策部4年の奥村敏生さんとなりました(本ニュースレターP4に体験談掲載)。第2部の懇親会では、軽食をとりながら学生主催の交流イベントを行い、留学経験者・留学希望者・大学関係者が自由に交流を図り、それぞれ実りのある情報交換会となりました。

今後、SAF日本事務局ではこのSAF Alumni Associationのネットワークをさらに広げ、将来的にはSAF事務局を設けているアジア(日本、韓国、中国、台湾)共通の国際人のためのネットワークとして大きく発展していくことを強く願っております。

当日のプログラム

第1部 留学経験者5名による学生コンペティション

1. 開会の辞
2. 留学経験者によるアイデア発表コンペティション
『大学生の国際化は日本を変えられると思うか?』
ルール説明/アイデア発表会/質疑応答/投票
3. 社会人OBによる基調講演
4. 表彰
5. 閉会の辞

第2部 懇親会食立ランチパーティー

プレゼンター

①山口 功記 Koki YAMAGUCHI 沖縄国際大学/留学先: ユタ大学(アメリカ)
②梁田 真吾 Shingo YANADA 駒澤大学/留学先: カンタベリー大学(ニュージーランド)
③村上 雅拓 Masahiro MURAKAMI 慶應義塾大学/留学先: ミネソタ大学(アメリカ)
④増田 創 So MASUDA 立教大学/留学先: アメリカン大学(アメリカ) ワシントンセメスタープログラム
⑤奥村 敏生 Toshiki OKUMURA 中央大学/留学先: ウェストミンスター大学(イギリス) (社会人OB) 原 侑太郎 Yutaro HARA 富士通株式会社/留学先: ユタ大学(アメリカ)



2012年新しいネットワーク大学が加わりました

SAFでは各アジアのメンバー大学からの要望に基づき、2012年度は新たにカリフォルニア大学サンディエゴ校、カリフォルニア大学バークレー校、カリフォルニア大学リバーサイド校、デュレクセル大学、マラガ大学の5校が

SAF International Networkに加わりました。また、2013年度からは現行のロンドンに加えサンフランシスコとニューヨークにて夏季・春季4週間の国際キャリア開発に関するプログラムを開催する予定となっています。

SAFネットワーク校一覧

アメリカ

アーカンソー大学
アイオワ大学
アメリカン大学
アラバマ大学
アリゾナ州立大学
アリゾナ大学
インディアナ大学
カリフォルニア大学
サンタバーバラ校
カリフォルニア大学
サンディエゴ校
カリフォルニア大学
バークレー校
カリフォルニア大学
リバーサイド校
カリフォルニア大学
ロサンゼルス校

カリフォルニア大学
ロサンゼルス校
サマーセッション
コロラド州立大学
コロラド大学 ボルダー校
コロラド大学
ゴンザガ大学
サンノゼ州立大学
サンフランシスコ州立大学
スミス大学
セント・トーマス大学
テキサスA&M大学
デュレクセル大学
ニューヨーク州立大学
パツファロー校
パデュー大学
バーモント大学
ハワイ大学 ヒロ校

バンダービルト大学
ペンシルバニア大学
マウント・ホリオーク大学
ミシガン州立大学
ミドルベリー大学
ミネソタ大学
モンタナ州立大学
モンタナ大学
ユタ大学
ワシントン大学国際関係学部
ISAYAインスティテュート

カナダ

カルガリー大学*
トロント大学*
ビクトリア大学

イギリス

ウェストミンスター大学

エジンバラ大学
オックスフォード大学
セント・アンズ・カレッジ
グラスゴー大学
ブリストル大学
ロンドン芸術大学
ロンドン大学
クイーン・メアリー校
ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン

アイルランド

アイルランド国立大学
ダブリン校*
リムリック大学

オーストラリア

ウーロンゴン大学
クイーンズランド大学

ニューサウスウェールズ大学
マツコーリー大学
ニュージーランド
オタゴ大学
カンタベリー大学
ビクトリア大学 ウェリントン

ヨーロッパ言語

フランス: アンジェ・カトリック大学*
スイス: ローザンヌ大学
ドイツ: ライプツィヒ大学
スペイン: マラガ大学
レオン大学*

* 語学強化プログラムのみの提供となります。

SAF国際キャリア開発プログラム

AIC アカデミック・インターンシップ・プログラム

アメリカン大学
ワシントン・セメスター・プログラム

エジンバラ大学
バーモント・インターンシップ・プログラム

FIE ロンドン・インターンシップ・プログラム



明治大学
国際連携機構
特任教授
芦沢 真五 先生

明治大学:多様な海外学習体験の推進にむけて

明治大学は2012年度からSAFと協定を締結しました。本学は2009年にグローバル30事業の採択を受け、国際化に向けた組織体制を強化するとともに、英語コースの設置など、留学生の受入れ促進のための取組みを推進してきました。また、海外協定校を拡大して「協定留学」を促進する一方、「認定留学」を含めた送り出しプログラムの多様化に取り組んできました。こうした取組みの一環として、英語圏の主要大学とネットワークをもつSAFと連携し、学生の「認定留学」の機会を増やし

ていこうとしています。

留学促進のために第三者機関のネットワークにより留学先を増やそうという試みは増大しています。学生の経済的負担を考慮すると、まずは交換留学を増やしていくことが理想的です。しかし、授業料相互不徴収を前提とするパートナーを開拓・協定を維持することは年々、困難になっています。これは次のような背景事情によるものです。

①授業料相互不徴収は、二つの大学間でバランスのとれた交換をしなければ、双方の大学にとって利益がありません。特に、日本語の学習者が少ない大学、日本への関心が低い大学にとっては、日本の大学と恒常的な相互不徴収協定を結ぶメリットを感じるところが少ない、という問題があります。

②一方、日本語や日本に関する学習に力を入

れている大学では、すでに日本に複数の協定校を持っている場合が多く、新たに授業料相互不徴収を前提とする協定を結ぶインセンティブがないという事情があります。

本学では、政治経済学部を中心とする国際プログラムにより、2012年度に「グローバル人材育成推進事業」(タイプB)の採択を受けました。これを契機として、ブリッジ型の留学、インターンシップ、ボランティア、ダブル・ディグリーなど、学生のニーズに応じた多様な海外学習を促進してまいります。協定については、従来からの「授業料相互不徴収型」に加えて、交換を前提としない授業料徴収型の協定留学も推進していきます。こうした中で、第三者機関と連携した留学についても、欧米主要大学への留学の選択肢を増やすという観点から促進していきます。

慶應義塾大学:『理工学部生対象 海外大学サマースクール科目履修留学』がスタート

慶應義塾大学理工学部では一部の学科を対象に、2012年から3年生のカリキュラムにクォータ制(4学期制)が導入されたことにより、第2クォータ(6月上旬から7月下旬)と夏期休暇期間を利用して、海外の大学で実施されるサマースセッションへの留学が可能となりました。これを受け、SAFでは慶應義塾大学理工学部と新たなプログラムを共同開発し、『理工学部生対象 海外大学サマースクール科目履修留学』を2013年度夏季から実施します。留学先の大学はカリフォルニア大学

バークレー校、カリフォルニア大学ロサンゼルス校、コロラド大学ボルダー校、アリゾナ大学と、いずれの大学も理工系分野において世界有数の名門校が揃っています。また、英国非営利教育機関であるFIE(Foundation for International Education)が提供するアカデミック・インターンシップ・プログラムも選択肢の一つとして導入され、留学の実現が難しい傾向にある理系学生のために、新たな可能性を見出しリードしていくプログラムとなることを期待しています。

【Graduate Access Program(GAP)】

コロラド大学ボルダー校のサマースセッションでは、SAFと共同開発したGraduate Access Program(大学院進学支援プログラム)がサマースセッション期間中に設定され、週1回2時間程の時間を使いコロラド大学の大学院入学事務局、現役大学院生や研究室を訪問し、海外の大学院システムについて把握することができます。

4月～9月までのスケジュール(※2012年度参照)					
4月	5月	6月	7月	8月	9月
理工学部 第1クォータ		理工学部 第2クォータ			
		University of California, Berkeley			
		University of California, Los Angeles			
		University of Colorado Boulder			
		University of Arizona			

Week 1	・GAPについてのセミナー ・スケジュール案内
Week 2-4	・キャンパス外の連邦研究所 もしくは研究施設への訪問
Week 5	・大学院進学についてのセミナー ・GRE および TOEFL についての概要案内
Week 6	・大学院生の立場 / 身分についてのセミナー ・CU Boulder Graduate Teacher Program からのセミナー
Week 7-9	・大学院アドバイザーおよび研究室への訪問
Week 10	・今後のステップについての案内

SAF日本事務局の活動内容

【設立】2000年

【活動使命】SAFは大学生の国際交流促進という使命のもと、国際的な大学ネットワークを組織し、1学期から1年間の質の高い留学機会を学生に提供することを目的としています。

【活動種類】

①留学プログラムの提供

「ジェネラル・プログラム」

交換/協定留学以外の認定/私費留学オプションとして、国際センターとの協力提携のもと、SAF留学プログラムを学生に提供します。

【カスタム/セミカスタム・プログラム】

特定の学部・学科におけるグループ留学プログラムを大学と共同企画・運営します。カリキュラムに組み込まれた留学プログラムを担当するため、大学のニーズやプログラムの規模に応じて専任のSAFプログラムコーディネーターが大学内に常駐します。

②専門知識・人材の提供

大学内の留学プログラムの運営や学生アドバイス等の国際関連業務に対して専門知識の提供ならびに必要なに応じたSAFのスタッフ派遣を実施しています。

【メンバー大学】桜美林大学、沖縄国際大学、関西学

院大学国際学部、慶應義塾大学、駒澤大学、信州大学、昭和女子大学、中央大学、東京理科大学、東洋大学、南山大学、日本女子大学、明治大学、立教大学
(2013年1月現在)

【加盟に必要な手続き】

メンバーシップの形態	手続き	費用
フルメンバー	MoU	入会金・年会費など メンバー費不要
カスタム・プログラム	契約	各大学・特定学部 との契約に基づく

SAFメンバー大学による会合:
第1回 International Advisory Council (IAC) Japan Chapter 発足

SAF日本事務局では、メンバー大学が14校になったことを受け、2013年1月15日に第一回目となるInternational Advisory Council (IAC)を発足させました。これまでメンバー大学毎に、SAFとの活動を振り返るAnnual Meetingを設けていましたが、メンバー大学の増加に伴い、各大学の代表の方が一堂に会し情報共有をするIACを開催する運びとなりました。IACではSAF全体の活動報告のみならず、SAFアメリカ本部Vice PresidentのCarol Carmodyより、欧米の大学におけるインターンシップ・プログラムの導入事例とプログラムの質/評価、イギリスやアメリカにおける査証(ビザ)のルールに関する問題についての講演も実施しました。実際に派遣業務に携わる職員の方々や国際担当の先生方、総勢23名にお集まりいただき、SAFならびにメンバー大学間で情報共有をすることができた貴重な会となりました。

IACは、①SAF Japanのメンバー大学に対し、SAF全体且つ日本事務局の活動報告を行う、②日本の高等教育にとって有益な情報の共有をする、③SAFメンバー大学同士の横のつながりを強化する、という3つの目的の基発足しました。IAC開催に際し、担当主催校を1年毎に選出し、メンバー大学との協力の基、毎年開催していく予定です。主催校は2012年度ご協力いただいた慶應義塾大学より、2013年度は中央大学に引き継がれます。



Sungkyunkwan University (SKKU) :
韓国の高等教育の国際化に関する一考



Mr. Terrence Henderson
Director of International programs, Sungkyunkwan University

1. 大学の国際化のために、SKKUを始め韓国の大学が取っている戦略

韓国の大学はここ数年で、世界中の大学と交換協定を結び授業料相互不徴収のプログラムを拡大しました。それに伴い、ほぼ全ての分野において韓国語のみの授業から一部英語での授業を提供するよう急速にシフトしました。また、これまで学生の留学希望先国は主に米国と日本であり、留学先を多様化させることが課題でしたが、現在では欧州本土も重要な留学先になりつつあります。

2. 大学の国際化における問題とその解決策

国際化は多面的な問題を含んでいますが、一番大きなものは言語です。国際センターでは各学部が英語の出版物を作成する際にサポートしており、また各学部事務には英語が堪能なスタッフが最低1名配属されています。多くの韓国の大学の学長が国際化を唱えており、強力な後ろ盾があるものの、大学全体を見渡すと国際化は大学の抱える課題の1つであるという現状もあります。

3. 今後国際競争力をより高めるためにSKKUや韓国の大学がすべき課題

外国人の教員や留学生は、良きも悪きも特

例とみなされがちのため、“レギュラー”(=キャンパスに自然に溶け込む存在)となる必要があります。外国人教員は言葉の壁のために大学の意思決定プロセスから除外される傾向があり、留学生は韓国人の友達が少ないと聞きます。これらの問題を解決するためには、長期的に実験的な対策が必要になるのではないかと感じます。

4. 日本の高等教育の国際化のプロセスに関して

日本と韓国の大学の国際化の過程を比較する際、社会・文化的背景を考慮することが必要です。韓国では外国人や混血の人口が増加しており、移民関連の法律もリベラルな方向に改正されてきています。企業では韓国語を話せる優秀な留学生を採用する動きが加速し、5年の就業経験の後には永住権を申請することができます。このような社会背景では、韓国の大学の国際化は必然且つ自然だと言えます。日本においては韓国のように“internationalize first, think later”ではなく、よくデザインされた良質なプログラム開発の基、徐々に国際化が進むのではないのでしょうか。質の良いプログラムは長い目で見ると優秀な学生を惹きつけるだろうと感じます。

SAF アジアメンバー大学一覧

- 日本
- 中央大学 Chuo University
 - 桜美林大学 J. F. Oberlin University
 - 日本女子大学 Japan Women's University
 - 慶應義塾大学 Keio University
 - 駒澤大学 Komazawa University
 - 関西学院大学国際学部 Kansai Gakuin University, School of International Studies
 - 明治大学 Meiji University
 - 南山大学 Nanzan University
 - 沖縄国際大学 Okinawa International University
 - 立教大学 Rikkyo University
 - 信州大学 Shinshu University
 - 昭和女子大学 Showa Women's University
 - 東京理科大学 Tokyo University of Science
 - 東洋大学 Toyo University
- 韓国
- Catholic University of Korea
 - Chonnam National University
 - Chung-Ang University
 - Dongguk University
 - Hankuk University of Foreign Studies
 - Hanyang University
 - Hongik University
 - Inha University
 - Kangwon National University
 - Kookmin University
 - Konkuk University
 - Korea University
 - Kyung Hee University
 - Kyungpook National University
 - Myongji University
 - Pohang University of Science and Technology
 - Pusan National University
 - Seoul National University
 - Sogang University
 - Sookmyung Women's University
 - Soongsil University
 - Sungkyunkwan University
 - University of Incheon
 - University of Seoul
 - Yonsei University
- 台湾
- Feng Chia University
 - National Chiao Tung University
 - National Chung Cheng University
 - National Taiwan University
 - National Taiwan Normal University
 - National Tsing Hua University
 - Tamkang University
 - Tunghai University
- 中国
- Beijing Jiaotong University
 - Beijing Normal University
 - Beijing University of Chemical Technology
 - Beijing University of Posts & Telecommunications
 - Central China Normal University
 - Central University of Finance & Economics
 - China Pharmaceutical University
 - China University of Mining & Technology Beijing
 - China University of Petroleum
 - China University of Political Science & Law
 - Communications University of China
 - Dalian University of Technology
 - East China Normal University
 - East China University of Political Science & Law
 - East China University of Science & Technology
 - Fujian Normal University
 - Guangdong University of Foreign Studies
 - Huazhong University of Science & Technology
 - Hunan University
 - Jinan University
 - Nankai University
 - North China Electric Power University
 - Northeast Normal University
 - Northeastern University
 - Office of Pilot Software Engineering Schools (MOE)
 - Shaanxi Normal University
 - Shanghai Finance University
 - Shanghai Institute of Foreign Trade
 - Shanghai Jiaotong University
 - Shanghai Normal University
 - South China University of Technology
 - Southeast University
 - Tianjin University
 - Tongji University
 - University of International Business & Economics
 - University of Science & Technology Beijing
 - Xiamen University
- (2013年1月現在)

文部科学省グローバル人材育成推進事業SEND対応
FIEロンドン国際キャリア開発プログラム

SAFでは文部科学省の「グローバル人材育成推進事業」に伴う大学からのニーズを受けて、既存のFIEロンドン・国際キャリア開発プログラム(短期4週間)を、FIE(Foundation for International Education)の協力のもと、SEND(Student Exchange - Nippon Discovery)に対応するものへとカリキュラムを再編成しました。これにより、「日本語指導支援や日本文化の紹介活動を通じて、学生自身の異文化理解を促す」というSENDの指針に沿った日本と他の国々を結ぶ人材へと成長するきっかけを提供するプログラムとなること

を期待しています。同プログラムは2012年度の春季(2月中旬～3月中旬)プログラムから実施致します。(※同様のカリキュラム内容で、ニューヨークとサンフランシスコでのプログラムを2013年夏季から実施予定です。) SAFでは大学からのニーズを把握し、新たにプログラムを開発することが可能です。

【FIE ロンドン国際キャリア開発プログラム】

FIEは、北米の学生を中心にロンドンで行うインターンシップ・プログラムを提供する非営利教育機関です。FIEとSAFが共同開発した『FIEロンドン国際キャリア開発プログラム』では、日本の学生がグローバル人材として国際キャリア開発を行うために必要とされる知識やスキルを、凝縮された4週間で学ぶことができるプログラムです。学生の語学力に基づき『アカデミック科目』、『語学科目』、『フィールドトリップ』の3つを組み合わせながら、今後必要となる国際的な視野を持ったキャリアについての理解を深めます。

SENDに対応し新たに導入するカリキュラム(予定)	
Week 1	FIE インターンシップ・プログラム参加中のアメリカ人留学生との交流会
Week 2	アメリカ人留学生への、日本の労働文化や企業風土に関するプレゼンテーション
Week 3	アメリカ人留学生のインターンシップへ1日同行(Job Shadowing)
Week 4	Job Shadowing から得た経験についてのプレゼンテーション

Advanced(上級)	Upper Intermediate(中上級)	Intermediate(中級)
【アカデミック科目】 ・ British Life and Business ・ Intercultural Communication ・ Careers Workshop 【語学科目】 提供なし	【アカデミック科目】 ・ Intercultural Communication ・ Careers Workshop 【語学科目】 Business English	【アカデミック科目】 ・ Careers Workshop 【語学科目】 Business English English for Effective Communication

SAF留学プログラム参加学生からのメッセージ

University of Westminster 語学力強化+学部授業履修プログラム
(2011-2012 Academic Year)

中央大学
総合政策学部
国際政策文化学科/4年
奥村 敏生 さん



面白そうだ、と何か物事に興味を抱くことは多くても、実際に自らの手でやってみるまでに至ることが私に

はあまりありませんでした。このままでは折角抱いた好奇心が勿体無いと思い、大学生活に臨むにあたって、興味を持った物事には勇気を出して最初の一步を踏み出す、ということを決めました。漠然と抱いていた海外への憧れを現実のものにする留学への第一歩は、振り返ってみると最も大きな勇気を振り絞った挑戦でした。

楽しい思い出もたくさんあった留学生活でしたが、自分の未熟さに悔しい思いをした経験も鮮明に覚えています。幾度となく壁を感じ、そのすべてを乗り越えることができたとは思いません。

留学は、行けばそれだけで成長できるという簡単な場では決してありませんでした。しかし間違いなく言えるのは、そうした経験が確実に私自身の糧になっているということです。自らがアクションを起こすことで問題を解決

した経験、また、動くことができずに目をつぶってしまった経験のどちらも、記憶にしっかりと刻み込まれています。初めての土地で、たった一人で生活を始めて迷いながらもたくさんの人と出会いました。そうした友達が送ってくれた些細な携帯メールが、不安でいっぱいの中ですぐに嬉しさを思い出させてくれたことではないでしょうか。

これからも、幾度となく壁に直面するのだろうと考えます。ここで感じた嬉しさ、そして悔しさのどちらもを忘れることなく、逃げずに挑戦することを続けていきます。

SAF日本事務局 スタッフ紹介



SAF日本事務局
ディレクター
ブレット・ラミンジャー



SAF日本事務局
副ディレクター
大学担当
留学プログラム開発
松田 晴子



SAF日本事務局
副ディレクター
プログラム運営・学生支援
福田 久美子



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
菊池 祐介



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
ウエングル 和加子



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
門田 祐也



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
児玉 有子



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
吉田 麗子



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
細井 美那



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
藤本 実千代



海外留学研修
プログラムコーディネーター
立教大学
異文化コミュニケーション学部
土開 稚子



プログラム運営・学生支援
プログラムコーディネーター
慶應義塾大学
短期海外研修プログラム担当
古山 佑香



THE STUDY ABROAD FOUNDATION
AN INTERNATIONAL UNIVERSITY NETWORK

SAF スタディ・アブロード・ファウンデーション日本事務局
<http://japan.studyabroadfoundation.org>